QUINTESSENCE PUBLISHING 日本 WEBINAR #92

事前申込受付中
参加費無料
7/23から
配信開始

ポーセレン修復における天然歯の色調と質感の模倣

近年、多様なセラミックマテリアルの臨床応用が進み、修復物の審美性と耐久性のバランスはPFM全盛の時代と比較して優位になっている。マテリアルの特性に依存した簡易的な色調表現の修復物が散見されるようにもなったが、多数歯修復においては問題とならない状況が多く、陶材築盛量を減らす、もしくは無くすことで製作時間の短縮と術者再現性の向上にもつ。ながっている。しかし、残存する天然歯の色調と質感を高度に模倣する必要がある症例では、20年ほど前と比較して、CAD/CAMやデジタルカメラの進歩を除き、セラミッククラウンの色調と質感の再現方法や製作難度に大きな変化はない。そこで今回の講演では、天然歯の色調を模倣するためセラミッククラウン製作時の基本要件として、「濃度を基準に考える象牙質構造の陶材選択」と、「象牙質構造へトランスルーセント陶材を築盛した後の色調の変化と、それを考慮したインターナルステインによる象牙質構造のキャラクタライズ」を、クラウン製作時に行う画像合成試適（仮想試適）の応用方法と併せて解説する。



●湯浅直人:著
●A4判(横本) / 220頁
●定価 19,800円(税込)(本体 18,000円＋税10%)

Webセミナー
申込はこちらから

関連書籍は
こちらから


湯浅直人 先生

こんな方へおススメ

- 天然歯のようなセラミッククラウンを製作したい方
- インターナルステインを学びたい方
- 臨床で画像合成試適を活用したい方

講　師:湯浅直人 先生
配信期間:2026年7月23日から10月23日まで
受講料:無料